

漁況情報 No.13 平成 19 年 9 月 12 日 発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

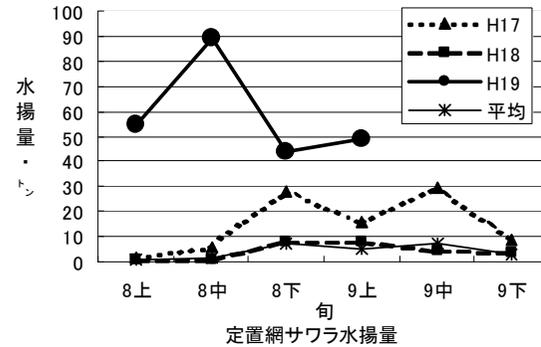
サワラ(定置網)の水揚げは好調です。

サバ類(定置網)の水揚げは低調に推移しています。

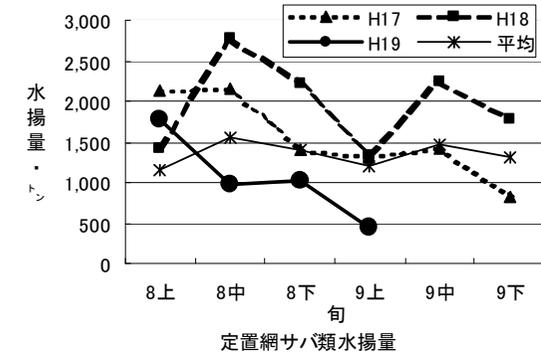
スルメイカ(いか釣り)の水揚げはほぼ過去 5 年平均並です。

1. 水揚げ状況

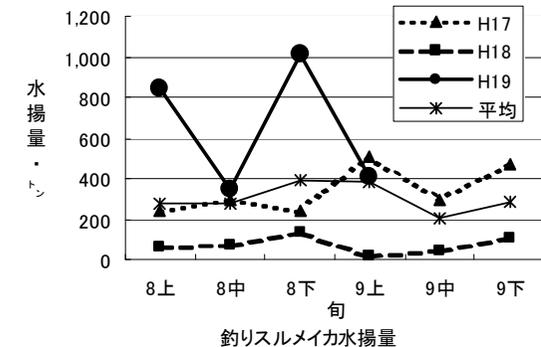
(1) サワラ (定置網) は大船渡を中心に水揚げがあり、9月上旬の水揚げ量は 49 トン (前年同期の 6.1 倍) でした。また、9月上旬の過去 5 年間の平均水揚げ量は 4.9 トンで、旬水揚げはその 10 倍でした。年累計は 320 トン (前年同期の 4.2 倍) です。



(2) サバ (定置網) は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、9月上旬の水揚げ量は 443 トン (前年同期の 33%) でした。また、9月上旬の過去 5 年間の平均水揚げ量は 1,207 トンで、旬水揚げはその 37% でした。年累計は 12,020 トン (前年同期の 95%) です。



(3) スルメイカ (いか釣り) は久慈を中心に水揚げがあり、9月上旬の水揚げ量は 411 トン (前年同期の 24 倍) でした。また、9月上旬の過去 5 年間の平均水揚げ量は 381 トンで、旬水揚げはそれと同程度でした。年累計は 3,677 トン (前年同期の 7.0 倍) です。



*水揚げ状況は主要 6 港 (久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡) の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎ブリ精密測定結果

9月上旬に水揚げされたブリ (釜石魚市場、定置網) の精密測定を行いました。ブリは大きさによって呼称が変わります。9月上旬に漁獲されたのは「ショッコ」銘柄で、29~31cm 主体でした。また、8月上旬の同銘柄と比べると約 3cm 程度大型になっていました。(図 1)。

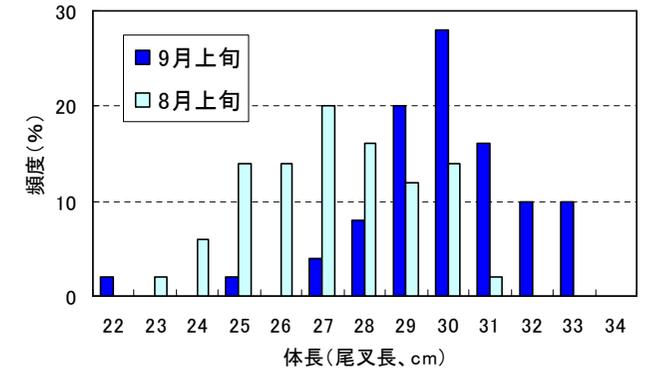


図1 ブリ(ショッコ)体長組成

◎サバ類精密測定結果

9月上旬に水揚げされたサバ類 (釜石魚市場、定置網) の精密測定を行いました。

体長は 26cm、31~32cm が主体であり、25cm 前後の「ムギサバ」が入網していました (図 2)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがあります。両種は体長と背びれの長さの比で判別できます (判別指数: 12 以上がマサバ、12 未満がゴマサバ、判別方法は漁況情報 No.9 参照)。今回測定したサバはマサバが 20%、ゴマサバが 80% であり、8月中旬 (マサバ: 36%、ゴマサバ: 64%) に比べてマサバの割合がやや低下しました。また、マサバはすべてムギサバで、30cm 以上はすべてゴマサバでした (図 3)。

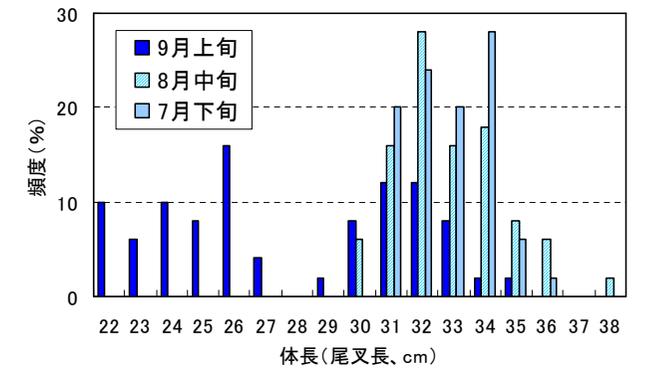


図2 サバ類体長組成

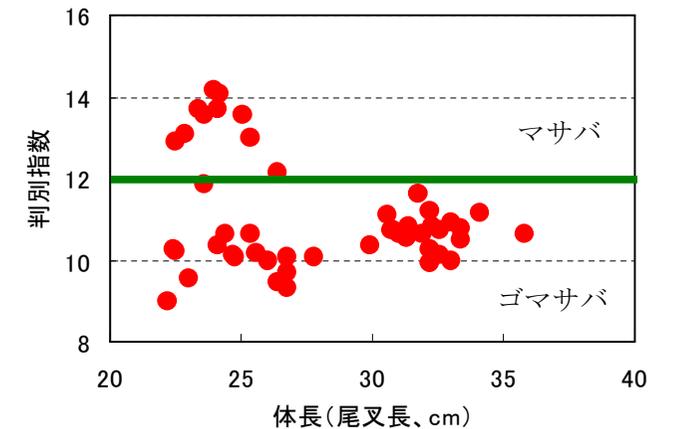


図3 マサバ・ゴマサバ判別指数

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>) で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。